

2005 年度研究活動報告

I. 研究セミナー

テーマ	講師	司会	期日	共催者
A Special Preview of DiscoverNikkei.org: A Global Website for Nikkei-related Resources and Discussions	Akemi Kikumura-Yano (Director of the Japanese American National Museum), Yoko Nishimura (Project Coordinator of the Nikkei Legacy Project)	飯野正子 (津田塾大学)	2005.5.30	アメリカ学会 移民研究会
Experimental Creative Writing	Robert Coover (Brown University)	佐藤良明	2005.6.1	アメリカ学会
The Role of Giving in American Democracy	Olivier Zunz (University of Virginia)	西崎文子 (成蹊大学)	2005.6.14	アメリカ学会 基礎研究 (A) 「アジアにおけるアメリカ文化外交の展開と変容」
The Rise and Fall of Black Internationalism in Asia: Black Americans, Japan, and China, 1900-1945	Marc Gallicchio (Villanova University ／琉球大学フルブライト招聘教授)	能登路雅子	2005.6.22	基礎研究 (A) 「アジアにおけるアメリカ文化外交の展開と変容」 アメリカ学会 21 世紀 CEO 「共生のための国際哲学交流センター」
Yilpinji: Love, Art & Ceremony: The Theme of Transgressive Love in Australian Aboriginal Visual Art	Christine Judith Nicholls (CPAS オーストラリア客員教授)	能登路雅子	2005.6.28	東京大学大学院 総合文化研究科 地域文化研究専攻
「日米関係と比較文学」	佐伯彰一 (東京大学名誉教授／世田谷文学館館長)	菅原克也	2005.7.16	東京大学大学院 総合文化研究科 比較文学比較文化研究室 東大比較文学会 アメリカ学会
Huagong and Huashang: Chinese Coolies and Shopkeepers in Latin America and the Caribbean	Evelyn Hu-DeHart (Brown University)	矢口祐人	2005.7.20	基礎研究 (A) 「アジア系アメリカ人の越境と文化混合に関する比較研究」 アメリカ学会

テーマ	講師	司会	期日	共催者
Patterns of Urban and Suburban Growth in the United States, 1800-2000	Kenneth T. Jackson (Columbia University)	能登路雅子	2005.7.28-29	上智大学アメリカ・カナダ研究所 日米教育委員会 アメリカ学会
Probationary Americans: How Contemporary U.S. Immigration Policies are Reshaping the American Society	Edward J. W. Park (Loyola Marymount University／東京大学・日本女子大学フルブライト招聘教授)	能登路雅子	2005.12.20	アメリカ学会 日米教育委員会
Text and Context in H. B. Stowe's Uncle Tom's Cabin	David D. Hall (Harvard University)	遠藤泰生	2006.1.11	上智大学アメリカ・カナダ研究所 初期アメリカ学会 キリスト教と文化研究所
人種・民族・グローバルヒストリー：アメリカ史をひらく Putting the United States into World History Putting the United States into Hemispheric History	Thomas Bender (New York University) Gary Gerstle (Maryland University)	遠藤泰生	2006.3.10	アメリカ学会 21世紀CEO 「共生のための国際哲学交流センター」

II. シンポジウム

◆CPAS International Symposium 2005

The World of Transnational Asian Americans

「越境するアジア系アメリカ人の世界」

主催：アメリカ太平洋地域研究センター、文部科学省科学研究費補助金基盤研究（A）

「アジア系アメリカ人の越境と文化混合に関する比較研究」

後援：文部科学省科学研究費補助金基盤研究（A）「アジアにおけるアメリカ文化外交の展開と変容」、21世紀COE「共生のための国際哲学交流センター」、アメリカ研究振興会、東京大学大学院総合文化研究科地域文化専攻

<公開シンポジウム>（同時通訳つき）

日時：2005年9月3日（土） 14：00-17：00

会場：東京大学駒場キャンパス 18号館ホール

プログラム：

司会…瀧田佳子（東京大学大学院総合文化研究科 教授）

挨拶…山本泰（東京大学大学院総合文化研究科 副研究科長）

報告…

油井大三郎（東京大学大学院総合文化研究科 教授）

「環太平洋のひとの移動—その過去と現在」

Henry Yu（UCLA 歴史学部/ブリティッシュ・コロンビア大学歴史学部 助教授）

“Then and Now: Comparing Contemporary and Historical Asian Migrants”

吉原和男（慶応大学文学部 教授）

「東南アジアからの中国系新移民—その環太平洋ネットワーク」

Eui-Young Yu（カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校社会学部、コリアンアメリカン/コリア研究センター 教授）

“Changing Dynamics of the Korean Community in the US, 1990-2000”

コメンテーター…能登路雅子（東京大学アメリカ太平洋地域研究センター長）

<専門家会議>（英語）

日時：2005年9月4日（日） 10:00-16:30

会場：東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム

プログラム：

Morning Session: Asian American Immigrants and Boundaries of Race

Chair: Yasuo Endo (University of Tokyo)

Panelists:

Robert Lee (Brown University)

“Christian or Heathen? Late-19th Century Chinese American Intellectuals’ Debate: Religion, Social Ethics and Modernity”

Eiichiro Azuma (University of Pennsylvania)

“A Trans-Border Japanese Immigrant Community in U.S. and Mexican Californias”

Izumi Hirobe (Hokkaido University)

“Naturalization Cases of Asian Immigrants”

Commentator: Evelyn Hu-DeHart (Brown University)

Afternoon Session: New Asian American Communities and Identities

Chair: Yujin Yaguchi (University of Tokyo)

Panelists:

Mari Sekiguchi (Asia University, Adjunct)

“‘American Desi’: Multiple Identities among Contemporary Asian Indians”

Hideki Harajiri (Shizuoka University)

“Meanings of Modern and Post-Modern Phenomena: Formation of Trans-national Communities of Korean-Chinese”

Miya Suga (Tokyo Gakugei University)

“Diversity within ‘Nikkei’: the Demographic Background and Multiple Identities of the ‘Japanese Population in the U.S.’”

Hiroko Furuya (Research Fellow, JSPS)

“Being American is to be Vietnamese: Remittances, Homeland Travel, and Anti-communist Activities”

Commentator: Edward J. Park (Loyola Marymount University)

◆2005年日豪シンポジウム

Japan, Australia and the Changing Asia Pacific Region: Prospects for Peace, Prosperity and

Regional Integration

「アジア太平洋地域の変容と日本・オーストラリア」

日時：2005 年 12 月 3、4 日

場所：東京大学教養学部（駒場）18 号館ホール

主催：東京大学大学院総合文化研究科 2005 年日豪シンポジウム実行委員会
東京大学大学院総合文化研究科附属アメリカ太平洋地域研究センター

後援：りそなアジア・オセアニア財団、豪日交流基金、一高記念基金

プログラム：

開会挨拶：木畑洋一（東京大学大学院総合文化研究科長）

挨拶：Leonie Boxtel（豪日交流基金事務局長）

12 月 3 日（土）

セッション 1：Overcoming New Crises

Lily Rahim（シドニー大学）

“Southeast Asia and the War on Terror: Emerging Shifts in Geopolitics and Security Architecture”

Rodney Tiffen（シドニー大学）

“Media and Democracy in an Age of Terrorism”

藤原帰一（東京大学）

“The Taming of Raging Bulls: North Korea, the United States and Northeast Asian Security”

ディスカッサント：茂田宏（東京大学、元駐イスラエル大使、元国際テロ対策担当大使）

セッション 2：Reforms and Developments

Peter King（シドニー大学/ライデン大学）

“Japan, Australia and Disintegrasi in Indonesia”

Edward Aspinall（オーストラリア国立大学）

“Prospects for Peace in Aceh”

中西徹（東京大学）

“The Emergence of a Community among the Urban Poor: Metro Manila”

ディスカッサント：加納啓良（東京大学）

12 月 4 日（日）

セッション 3：The Future of Regional Cooperation and Integration

Rawdon Dalrymple（シドニー大学、元駐米・日・インドネシア大使）

“Japan, Australia and the Movement for East Asian Solidarity”

Richard Tanter（ノーティラス研究所）

“After Hegemony: Japan, China and New Approaches in East Asian Security”

菊池努（青山学院大学）

“Asians in Search of a Region: Discourse and Quality of Cooperation in East Asia”

ディスカッサント：山影進（東京大学）
セッション 4：総括セッション

III. 研究プロジェクト

- ・文部科学省研究費補助金・基盤研究（A）(1)「アジア系アメリカ人の越境と文化混合に関する比較研究」（代表：油井大三郎）
- ・文部科学省研究費補助金・基盤研究（A）(2)「アジアにおけるアメリカ文化外交の展開と変容」（代表：能登路雅子）
- ・日米文化教育交流会議（カルコン） デジタル教材開発 WG への協力（代表：能登路雅子）
- ・21 世紀 CEO プログラム「共生のための国際哲学交流センター」への協力

IV. 出版活動

- ・講座「変貌するアメリカ太平洋世界」全 6 巻、彩流社（2004-5 年）
 - 1 巻 遠藤泰生・油井大三郎編『太平洋世界の中のアメリカ——対立から共生へ』（2004 年）
 - 2 巻 五十嵐武士編『太平洋世界の国際関係』（2005 年）
 - 3 巻 山本吉宣編『アジア太平洋の安全保障とアメリカ』（2005 年）
 - 4 巻 松原望・丸山真人編『アジア太平洋環境の新視点』（2005 年）
 - 5 巻 庄司興吉編『グローバル情報化とアメリカ・アジア太平洋』（2004 年）
 - 6 巻 瀧田佳子編『太平洋世界の文化とアメリカ——多文化主義・土着・ジェンダー』（2005 年）
- ・柴田元幸『アメリカン・ナルシス——メルヴィルからミルハウザーまで』アメリカ太平洋研究叢書、東京大学出版会（2005 年）。
- ・Daizaburo Yui, ed. *The World of Transnational Asian Americans*. Center for Pacific and American Studies, 2006.
- ・『CPAS Newsletter』vol. 6, no. 1（2004 年 10 月）、no. 2（2006 年 3 月）。
- ・『アメリカ太平洋研究』第 6 巻（2006 年 3 月）。

V. センター所属教官の本年度の研究活動

◆能登路雅子

共編著

- ・「概説」1-24 頁（有賀夏紀と共著）、「大量生産とアメリカ文化」106-117 頁、「日常生活を変えた自動車と映画」164-175 頁、「ミッキーマウス登場から白雪姫まで：初期ディズニー映画の進化と影響力」241-252 頁、「ボーイスカウトと愛国主義」284-296 頁を分担執筆、有賀夏紀、能登路雅子編『史料で読むアメリカ文化史 4 アメリカの世紀 1920 年代-1950 年代』東京大学出版会（2005 年 12 月）総 351 頁。

分担執筆

- ・「日米文化教育交流会議（カルコン）の成果と課題」瀧田佳子編『太平洋世界の文化とアメリカ：多文化主義・土着・ジェンダー』彩流社（2005 年 2 月）、163-184 頁。

- ・「人格形成と野性への志向：ボーイスカウト」綾部恒雄編『クラブが創った国アメリカ』山川出版社（2005年4月）、188-201頁。

雑誌論文

- ・「ディズニーの帝国：アメリカ製テーマパークの文化戦略」『立教アメリカン・スタディーズ』立教大学アメリカ研究所（2005年3月）、25-40頁。

辞典・事典項目執筆

- ・「アメリカへの移民」猪口孝他編『国際政治事典』弘文堂（2005年12月）、48-50頁。

学会

- ・CPAS 国際シンポジウム「越境するアジア系アメリカ人の世界」、東京大学大学院総合文化研究科附属アメリカ太平洋地域研究センター、東京、2005年9月3日、コメンテーター。

招待講演

- ・フェリス女学院大学英文学会講演「ファンタジーを読む：ウォルト・ディズニーの世界」、フェリス女学院大学、2005年10月、講演。

◆油井大三郎

編著

- ・「世界戦争の中のアジア太平洋戦争」を分担執筆、油井大三郎他編『岩波講座アジア・太平洋戦争』第1巻、岩波書店（2005年11月）、235-274頁。

分担執筆

- ・「日米関係の現在と未来」東京大学教養学部編『16歳からの東大冒険講座』第2巻、培風館（2005年）、70-93頁。

辞典・事典項目執筆

- ・「アメリカ合衆国」猪口孝ほか編『国際政治事典』、弘文堂（2005年）。

その他

- ・「現実主義外交の提唱者」『日本経済新聞』2005年3月19日。
- ・対談、中村政則・油井大三郎「戦後60年——どんな転換点なのか」『世界』2005年1月。

学会報告

- ・“Roundtable on East Asian Networks of American Studies”, The 49th Annual International Conference of the American Studies Association of Korea, Gyeongju, Korea, October 30, 2005, Panelist, English.
- ・福岡大学七隈史学会年次大会、基調講演「第二次世界大戦の記憶とその日米ギャップ」福岡、2005年9月24日。
- ・東京大学大学院総合文化研究科地域文化専攻など、「和解のための歴史を求めてーヨーロッパとアジア」、駒場、東京、2005年11月5日、コメンテーター。

◆小寺彰

論文

- ・「投資協定仲裁の新たな展開とその意義」RIETI ディスカッションペーパー 05-J-021, [http:](http://)

//www.rieti.go.jp/publications/dp/05j021.pdf (2005年)。

- ・「経済連携協定の意義と課題」『法律時報』2005年6月号。
- ・「国際法判例の動き」『ジュリスト』1269号(2005年)。
- ・「大使館に対する課税免除」『国際社会科学』54号(2004年)。
- ・「貿易・投資分野における国際紛争処理の新次元」『ジュリスト』1299号(2005年)。
- ・「自由貿易協定と知的財産権」相澤他編『知的財産権の理論と現代的課題(中山信弘還暦記念論文集)』弘文堂(2005年)。

共編著

- ・『国際条約集 2005年版』有斐閣(2005年)。

書評

- ・「荒木一郎・川瀬剛志編『セーフガード』」日本国際経済法学会年報14号(2005年)。

発表

- ・“The General Nature of Japan’s Economic Partnership Agreement and East Asian Community,” WTO network Seoul Conference, April 25, 2005.
- ・「紛争処理の目指すもの」RIETI政策シンポジウム『難航するWTO新ラウンドの打開に向けて：多角的通商体制の基本課題と我が国の進路』2005年7月22日。
- ・“What are the Obstacles of the DDA and How can We Overcome?” WTO at Ten Conference, October 26th, 2005.

◆遠藤泰生

編著

- ・「概説」13-44頁、「黒人種奴隷制度の成立——1705年ヴァージニア植民地議会、奉公人と奴隷に関する法律」、167-180頁を分担執筆、遠藤泰生編『史料で読むアメリカ文化史 1 植民地時代15世紀末—1770年代』東京大学出版会(2005年10月)、総387頁。

分担執筆

- ・「国民になる方法—1795年連邦帰化法」荒このみ編『史料で読むアメリカ文化史 2 独立から南北戦争まで、1770年代-1850年代』東京大学出版会(2005年10月)、56-68頁。

その他

- ・「温かな瞳の人」『比較文学研究』86号(2005年11月)、147-149頁。
- ・「アメリカの解体とアメリカ研究の解体」『英文学研究』第82巻(2005年12月)、316頁。

発表

- ・“American Empire: Past and Present,” New Research Initiatives in Humanities and Social Sciences, Japan Society for the Promotion of Science, Tokyo, March 12, 2005, Chair & Discussant.
- ・「2005年の今、文学部英文学科で“アメリカ文学・文化”をどう教えるか」日本英文学会、日本大学文理学部、2005年5月22日、発表。
- ・「立命館京都アメリカ研究セミナーの10年」立命館大学アメリカ研究センター、キャンパスプラザ京都、2005年10月21日、ディスカッサント。

◆岡山裕

著書

- ・『アメリカ二大政党制の確立—再建期における戦後体制の形成と共和党』（東京大学出版会、2005年6月）。

分担執筆

- ・「政党」久保文明編『アメリカの政治』（弘文堂、2005年12月）、114-133頁。

辞典・事典項目執筆

- ・編集協力および「アメリカ合衆国憲法」「南北戦争」等14項目、猪口孝他編『国際政治事典』弘文堂（2005年12月）。

発表

- ・“Waiting for Policy Expertise: Institutional Choice and the Shaping of the U.S. Interstate Commerce Commission,” Annual Meeting of the Midwest Political Science Association, April 7-10, The Palmer House Hilton, Chicago, Illinois, U.S.A.
- ・“The Scope of Morality in American Political Development,” comment on the keynote speech by James A. Morone (Brown University), Kyoto American Studies Summer Seminar, Ritsumeikan University, Kyoto, Aug. 1-3, 2005.
- ・“Paving the Way for Policy Experts: Historical Constraints on Institutional Choice and the Making of the U.S. Interstate Commerce Commission,” Annual Meeting of the American Political Science Association, Sept. 1-4, Marriott Wardman Park, Washington, D.C., U.S.A.

その他

- ・日本政治学会年次大会、分科会L「政策史と制度史の射程」明治大学、2005年10月2日。
- ・「民主政が政策専門性を導入するとき—19世紀末アメリカにおける独立行政委員会制の設計過程」東京大学法学部政治史・比較現代政治研究会、2005年10月22日。

◆渡邊貴子

その他

- ・「大学図書館における電子資料の現状」『アメリカ太平洋研究』6号（2006年3月）。

◆梅崎透

その他

- ・「アメリカ研究における電子データベースの利用とデジタル化の現在」『アメリカ太平洋研究』6号（2006年3月）。

発表

- ・「キューバ革命とニューヨーク・ラディカリズムの再編——アメリカ『60年代』論の再考にむけて」日本アメリカ史学会年次大会、関西学院大学、2005年9月17日。

講演

- ・「アメリカ留学へのアドバイス——準備編・実践編」東京学芸大学、2006年1月17日、24日。

アメリカ太平洋地域研究センター運営委員会 (2005 年度)

大学院総合文化研究科・教養学部

(センター長・運営委員長)	能登路 雅子	教授
(副研究科長)	山本 泰	教授
(言語情報科学専攻)	西中村 浩	教授
(言語情報科学専攻)	林 文代	教授
(超域文化科学専攻)	三角 洋一	教授
(超域文化科学専攻)	高田 康成	教授
(地域文化研究専攻)	大貫 隆	教授
(地域文化研究専攻)	村田 雄二郎	教授
(国際社会科学専攻)	石井 明	教授
(生命環境科学系)	友田 修司	教授
(相関基礎科学系)	岡本 拓司	助教授
(広域システム科学系)	谷内 達	教授
(委嘱委員)	木村 秀雄	教授
(センター)	油井 大三郎	教授
(センター)	小寺 彰	教授
(センター)	遠藤 泰生	教授
(センター)	岡山 裕	助教授

大学院法学政治学研究科

五十嵐 武士 教授
寺尾 美子 教授

大学院人文社会系研究科

上野 千鶴子 教授
平石 貴樹 教授

大学院経済学研究科

石原 俊時 助教授
大森 裕浩 助教授

大学院教育学研究科

矢野 真和 教授

社会科学研究所

Noble, Gregory 教授

情報学環・学際情報学府

田中 秀幸 助教授

以上 26 名